

働く障がい者情報誌



Clover Vol.17

クローバー



クローバーイメージキャラクター「クロービー」

【発行】南加賀就労支援強化連絡会
 【企画取材】南加賀就労支援強化連絡会
 クローバー制作委員会
 【制作】マルト株式会社
 【問い合わせ先】
 南加賀就労支援強化連絡会 事務局
 社会福祉法人 こまつ育成会
 こまつ障害者就業・生活支援センター
 電話 0761-48-5780

ヤマト運輸株式会社北陸
 コールセンター調査部門
 稲垣 浩さん
 いながき ひろし



働く人に 聞いてみよう

読者プレゼント
 クローバー
 応援店舗券
 金 1,500円分を11名様に
プレゼント!!
 応募して
 金券を
 もらおう!!
 詳しくは4Pをご覧ください。

今回の「働く人に聞いてみよう」は、ヤマト運輸株式会社北陸コールセンターの調査部門で働かれて、4年目の稲垣浩さんです。

就職活動で苦労したことは、

始めは障がいがあるため、一般企業で働けるのか不安がありました。面接をして下さった上司の方が、「大丈夫だから、すぐおいで」と30分ほど話して即決して頂いたんです。思わぬ決断にびっくりしました。

仕事内容は、

不在で荷物が届かなかったお客様に、その後お電話をかけて、ご都合の良い時間帯や日にちなどを調査します。なるべく早くお客様に商品が届くよう、パソコンを使って調査結果をドライバーや営業店へ伝えるという仕事をしています。

仕事をしていて大変な事は、

お客様に合わせて臨機応変に対応するという所が大変ですね。僕の場合はお薬を飲みながら仕事をしているので、それつが回りにくいことがあります。なるべく丁寧にゆっくり話すように工夫しながらやっています。特にお客様の要望にお応えするという気持ち

ご希望にお応えするという気持ち

ちでお電話を掛けて頂いていま

長く仕

自分がだと思わ良い言葉したり、こつという言い方だとかないか、ていますました。

上司の

稲垣さんの印象いつも落ンに入カ手本になお仕事があると思



上司の野上さん



（上）P.C

読者レポート

障害福祉サービス事業所

どんなところ？

今回は、能美市にある社会福祉法人南陽園「夢ファクトリーてらい」さんにて、石川県立寺井高等学校のJRC部（青少年赤十字）の正真さん、川西さん、角尾さん、南戸さんの4名が事業所レポートを行いました。



石川県立寺井高等学校 JRC部

左から：角尾さん(1年)、川西さん(1年)、南戸さん(1年)、正真さん(1年)

最初に支援員の要明さんより、事業所についての説明を受けた後、正真さんは洗濯作業を、川西さん、角尾さん、南戸さんは洗濯後のタオルを畳む作業をそれぞれ利用者の方と一緒に体験しました。

【体験してみたの感想】

●正真さん

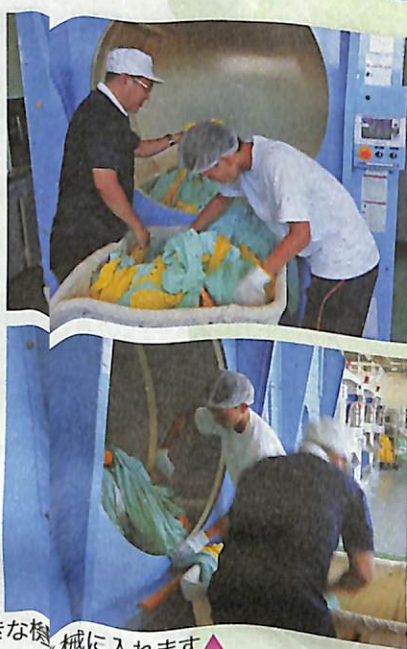
障がいのある人と違って自分たちと変わらないことがわ



▲機械の説明を真剣に聞いています



▲大量の洗濯物を大きな機械に入れます



かりました。皆さんは仕事に対してとてもやる気があるって、大変な仕事を繰り返しやっているとるのが凄いなと思いました。

●川西さん

障がいがあっても私達と変わらないのだと感じました。「障がい」という言葉には暗いイメージがありました。利用者の方と一緒に接してみても楽しくて明るい人たちがばかりで印象が変わりました。

●角尾さん

作業中にわからないことがあった時に、利用者の方が丁寧に教えてくれて、心の温かさを感じました。日常会話もできて楽しかったです。

●南戸さん

事業所はとても明るい雰囲気、利用者の方と一緒に仕事ができ楽しかったです。

今までは障がいのある方に壁を感じていた部分もありましたが、今日をきっかけに、とても親しみやすい方たちだと感じるようになりました。

▼結束機の取り扱いに悪戦苦闘▼



in 社会福祉法人南陽園 夢ファクトリーてらい



利用者のお話

確かに皆さんの感想にあった通り、利用者の方たちは障がいが見えにくく、普通の人と変わらないように思つかもしれません。しかし、その一方で何かしらのハンディキャップや生きづらさを抱えています。私たちは一人ひとりの特徴を理解して、その人にあった支援をどう行えるか、日々模索しています。

最後に、本日の経験を今後につなげていくかという話に及び、「誰かに助けてほしいと思うことは、障がいがある・なしに関わらず誰でもあると思う。」
「誰かに助けてほしい」という思いは、障がいのある人もない人も共に生きる「社会」に向けて、皆さんの中で歩みが始まっているのだと思うと、とても頼もしく感じました。

読者リポーター 募集中!

【お問い合わせは】
TEL0761-48-5780まで

